

明日をひらくとし
都市



YOKOHAMA 9

こうほう
広報よこはま

2025

よこはま

横浜を味わおう！



よこはま
横浜の
ゆたかな農の
ふうけい
風景



くわしいことは
2~3ページへ



市長就任のあいさつ

横浜市長の山中竹春です。このたび、2期目の市の取組を運営することになりました。

2021年8月から、市民のみなさまの声を聞きながら、職員や議会と一緒に取り組んだ結果、子どもの医療費ゼロ、出産費用ゼロ（基礎的費用）、2013年以来、12年ぶりの待機児童ゼロ、夏休みの学童保育の昼ごはんの提供を行いました。2026年の4月から中学校の全員給食も始まります。

よこはま しょくじゅう
横浜市長 山中竹春

は観光の消費額が過去最高になりました。

2024年、横浜市の人口転入超過はこれまでの20年でいちばん多くなりました。選ばれる都市として、良い流れになっています。これからも、もっと「人にやさしいまち」をめざし、みんなが安心して暮らせる環境をつくります。将来世代も豊かに暮らせるように環境への負担をへらすなど、これからにつながる社会づくりにも力を入れていきます。

2027年には、環境と共生する社会に向けた解決策を世界に発信する国際博覧会「GREEN×EXPO」を横浜市がホストシティとなって国と一緒に開催します。気候変動が問題となり、私たちの生活にも影響がある中、横浜からしあわせに暮らし続けることができる都市のモデルを世界に提案していきます。

これからも、市民のみなさまが住みやすく、魅力にあふれ、世界に誇れる横浜になるよう取り組んでいきます。

よこはまのうじょう農場 横浜農場



あら新たなのうたいけん農体験プログラム始動！

10月中旬～ みなとみらいで

きがる気軽に楽しむ農体験イベント

10月中旬にみなとみらいで行われる「BAY WALK MARKET 2025」で、農体験と謎解きゲームをくみあわせて楽しむイベントを行います。そのあとも、みなとみらいエリアで、かんたんに参加できるさつまいもの収穫体験を行う予定です。



11月上旬～ はたけ畑で

よこはまのうたのうたいけん 横浜の農を楽しむ！農体験バスツアー

11月上旬に、横浜の自然とふれあうバスツアーを行います！1日のほか半日コースもあり、親子で参加できます。さつまいもやみかんを収穫する体験、生産している人の交流などを楽しんで、秋の思い出づくりをしてみませんか。

8月～ おうちで

親子で一緒にこまつな小松菜を育てよう！

中区、西区、南区の3歳児健診をうける親子に、オリジナルの小松菜を育てるキットをプレゼントしています。育てる楽しさを親子でシェアしよう！



Instagramもチェック！
農の魅力や地産地消のイベントなどを発信中！



くわしいことはこちら



かいさいち　かみせや GREEN×EXPO 2027開催地 上瀬谷

しぜん　じせ　だい 自然を守る 次世代へつなぐ

2027年、瀬谷区と旭区にまたがるとてもひろい上瀬谷の地で、「GREEN×EXPO 2027」を行います。
「環境との共生」をテーマに、新しい循環型社会のあり方を世界へ発信するため、会場の公園整備を豊かな自然環境や生態系く生きもののくらしのしくみ>を大切にしながら行っています。



じゅもく　※いしょく 1,600本以上の樹木の移植

自然は、そのままにすると荒れていきます。管理と手入れにより、自然を長く守り育てる環境をつくることが大切です。
上瀬谷の地を長く見守ってきた樹木を残すために、地区内の1,600本以上の樹木を生育のもっとよい場所へ移し、樹木にやさしい環境をつくっていきます。

※移植　植物を別の場所に移して植え替えること



となりあう枝がかさなって、樹木が育ちにくい状況



移植する樹木をていねいに掘り、根鉢（根と土の塊）を大切に包み移植するところに運びます。

いじく
移植の後



さくら　めいしょ 新たな桜の名所づくり

成長しやすい場所への移植や、たおれる危険がある桜の植え替えにくわえて、新しいさまざまな品種を植えることで、市民の財産になる桜の名所をつくります。公園の中におよそ30品種・400本の桜の木を植えています。春にはいろいろな桜が咲き美しい景色が広がります。

また、近くの小学校の児童や地域のみなさんといっしょに「接ぎ木」を行い新しく育てた桜は、小学校や公園など市内の公共施設に植えられ、地域の風景となっていきます。

※接ぎ木　木の一部をほかの木につけて1つの木にする方法



▲公園に植えた桜



▲子どもたちと木を植える様子

日本に住むすべての人と家庭が対象です
国勢調査への回答をおねがいします!

2025年10月1日を基準の日として、国勢調査を行います。9月20日から、顔の写真がついた「国勢調査員証」をもった人が家にきて調査する書類をくばります。回答は10月8日(水よう)までに、インターネットか紙の調査票でしてください。

回答はかんたん便利なスマホから

1 アクセスする

調査書類が届いたら、スマホから二次元コードを読みとってかんたんログイン!

国勢調査をよそおった詐欺や不審な調査に注意!

2 回答する

画面の案内にそって回答します。
(かかる時間はひとり暮らしの人の場合で5~10分ぐらい)

国勢調査では、お金の請求や調査票以外の個人情報をきくことはありません。

国勢調査とは?

- 法律にもとづいて5年に1回行われる、日本でいちばん大切な統計調査です。
- 回答することが法律で決められています。回答データの秘密は守ります。
- 調査結果は、子育て支援や防災対策、地域の活性化など、私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられます。

国勢調査
コンタクトセンター

ナビダイヤル TEL:0570-02-5901
IP電話などからの場合 TEL:03-6628-2258
【設置期間】9月16日(火よう)~11月7日(金よう)
【受付時間】毎日9時~21時

きくとこ 政策経営局統計情報課 TEL: 045-671-4207 FAX: 045-663-0130

地球にやさしいお店の輪を広げよう!

「行こう! 脱炭素取組宣言のお店へ」キャンペーン開催!

開催期間▶9月1日(月よう)~30日(火よう)

「脱炭素取組宣言」をしているお店に行って
SNSに投稿すると、抽選で賞品が当たります!

賞品の例



近沢レース店の
ミニハンカチ2枚セット



横浜DeNAベイスターズ
キャップ

- 1 参加する方法
2
3

キャンペーン公式サイトで対象のお店を確認し、お店に貼ってある脱炭素取組宣言ロゴステッカーを写真でとる。



横浜市Xアカウント「YOKOHAMA GO GREEN (@yokohama_kankyo)」をフォローする。



キャンペーン投稿に、1でとった写真と「#(訪問したお店の名前)」「#横浜市脱炭素取組宣言」をつけて引用ポストする。



脱炭素取組宣言
City of YOKOHAMA

きくとこ 経済局総務課 TEL: 045-671-2580 FAX: 045-661-0692



みなとみどりれきしちいき
海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。
今日は、横浜美術館(西区)からです。

「作り方」を知り、自分の「考え方」を整理する

よこはまびじゅつかん きねんてん さとうまさひこてん
～横浜美術館リニューアルオープン記念展 佐藤雅彦展 新しい×(作り方+分かり方)～
よこはまびじゅつかん しゅせきがくげいいん まつながしんたろう
横浜美術館 主席学芸員 松永真太郎

ウェブ版では
抽選で
読者プレゼント
があります



「ポリンキー」(湖池屋)や「バザールでござーる」(NEC)のCMをおぼえていますか? 40代以上の人にはなつかしく感じるかもしれません。これらのユニークなCMをつくれたのが、佐藤雅彦です。「ピタゴラスイッチ」(NHK)でその名前を知っている人も多いでしょう。これら佐藤作品の展覧会を、横浜美術館でやっています。



▲ピタゴラ装置(NHK「ピタゴラスイッチ」より)
画像提供: 横浜美術館

会場のいろいろな作品が、一人の表現者によって生み出されたことにおどろかされます。佐藤作品の多様さをることは、展覧会鑑賞の第一歩にすぎません。

佐藤の創作の特徴は、ものごとの「作り方」の開発、つまり「作り方を作る」ことに重きを置いている点です。展覧会では、文章や映像をとおしてその「作り方」を紹介しています。作品を楽しみつつ、その方法論をとおして佐藤独自の考え方について語らうことが、この展覧会です。

一つ一つの作品の背景には、理路整然とした「作り方」、整理整頓された「考え方」があり、それが見る人の知的好奇心をくすぐります。気づけば、自分の考え方も整えてみたくなる、そんな気持ちがわいてきます。会場では、時間をかけて作品を見る大人たちが目立ちます。子どもたちの感受性もかるくみてはいけません。「作り方」の説明がわからなくても、この展覧会が伝えたい「考えることの大切さ」を、きっと感じてくれるはずです。

「横浜美術館リニューアルオープン記念展 佐藤雅彦展 新しい×(作り方+分かり方)」は、11月3日(月・祝)まで開催しています。(日時の指定券が必要です。)



くわしいことはこちら

よこはまびじゅつかん
横浜美術館

ゆうりょう
有料

【お休み】毎週木よう、年末年始

きくとこる TEL: 045-221-0300 FAX: 045-221-0317

身近な人の命を守るために 今できること

ウェブサイト「TSUMUGI」では、悩みをもつていて、心が苦しくなっている人のことを知り、寄り添い支える方法が学べます。大切な人の命を守るために、まずは今できることを知ってみませんか。

きくとこる 健康福祉局こころの健康相談センター TEL: 045-662-3558 FAX: 045-662-3525

命をつなぐための情報をとどけています



TSUMUGI
はこちら

知ってほしい「認知症」のこと

認知症の人とのお話をとおして見えた、診断を受けてからの心の変化や、まわりに伝えたい思いを知り、みんなが自分らしく暮らせる社会について考えてみませんか。

きくとこる 健康福祉局高齢在宅支援課 TEL: 045-671-4129 FAX: 045-550-3612

命をつなぐための情報をとどけています



どうが
動画はこちら

案内はがきが届かない人も確認を! 申請はオンラインが便利です 定額減税補足給付金(不足額給付)の申請は10月31日まで

あてはまる人へ案内はがきを7月に送りました。2025年6月2日以降に住民税額の変更があった人や2024年に横浜市へ転入した人などは、あてはまる人でも案内が届かないことがあります。

くわしいことはウェブページをみてください。またはコールセンター、区役所の申請サポート窓口にきてください。

きくとこる 横浜市定額減税補足給付金(不足額給付)コールセンター〈9時~19時(土日よう祝日・休日はお休み)〉 TEL: 0120-045-320 FAX: 0120-303-464



くわしいことは
こちら



今、来るかもしれない災害に備える

命と暮らしを守る 災害に強い横浜へ

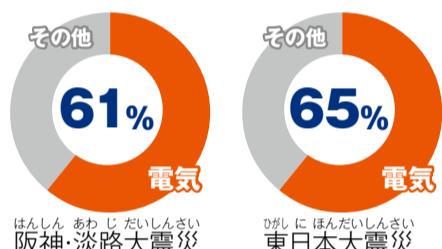
横浜市では、能登半島地震などの地震災害から学び改定した「地震防災戦略」をふまえて、地震火災の対策や避難所の環境をよくするなど、対策を進めています。



家での災害発生前の備え

地震火災の原因
わり
6割以上は「電気」

地震火災の原因



出典:「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」報告書より、出火原因が確認されたもの

地震で電気を自動OFF! 「感震ブレーカー」の設置を!

- 今年度から、家に設置する代金の50% (上限2,000円) の補助がもらえます。
- また、延焼火災の危険が高い木造の家があつまる地域では、全額(100%)の補助がもらえます。

くわしいことは
こちら



どの感震ブレーカーが家にあうのか、センターで相談できて、とても安心できました。迷っていたけど、すぐに解決できて助かりました!



きくところ 感震ブレーカーについて コールセンター TEL: 0120-993-918

避難所の環境を良くする

市民アンケートからの声

避難所の
トイレやエアコンなどの
避難所の環境が心配...



エアコンや洋式トイレの整備

- 季節による暑さ・寒さにかかわらず、地域防災拠点で快適に過ごせるよう、市立学校すべての体育館にエアコンを取り付けていきます。
- 避難所となる小・中学校のトイレだけでなく、帰宅困難者<家に帰れない人>もつかう公園のトイレも、すべて洋式トイレにしていきます。



100%
学校エアコン設置

100%
学校・公園の
トイレ洋式化

きくところ 総務局地域防災課 TEL: 045-671-2011 FAX: 045-641-1677